

〔科目名〕 健康と医療	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 教養科目
〔担当者〕 長岡朋人	〔オフィス・アワー〕 時間:在室時 場所:605 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 1. 講義の内容 本講義は、人体の構造と機能の学習を通して、健康と医療に関するリテラシーを涵養することを目的とします。人体と構造と機能は医学・医療の基礎となります。近年の医学・医療は急激に発展しており、社会との関わりが密になっています。本講義は、細胞や遺伝子の講義から始まり、人体そのもののマクロ的な視点を涵養し、ときには症例をまじえながら、基礎医学と臨床医学の橋渡しとなる講義を目指します。講義は、生物学、組織学をベースに、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、神経系、内分泌系、運動器系、生殖器系の講義を行います。 2. 講義の特色 医学・医療系の講義は膨大な用語を正しく理解する必要があります。語学と同様に手間と時間をかけなければ医学の「言葉」は理解できません。本講義は暗記を目的としていませんが、理解するためには反復学習(ノート作成)が必要です。本講義は、膨大な情報量を理解するための勉強法を身につけることに役立つでしょう。また、講義で得られた医学・医療の知識をもとに、症例の課題に対するグループ学習を行います。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 1. 批判的思考 私たちは医療に密接にかかわる場面で生活しています。医療の知識は常に進歩していき、当たり前だと思った知識も色褪せていきます。身近にある当たり前の事柄に疑いを持ち(病院における診断も必ずしも正しいとは限りません)、情報を取捨選択するための基礎知識を涵養します。 2. 専門分野との学際的接点 本科目と経営経済学との学際的接点(たとえば感染症と経営経済学は密接に関わります)により、学生の知的好奇心を高めることができると確信しています。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 1. 最終目標 (1) 書籍やインターネットの情報を検索・取捨選択し正しく引用できること、(2) 自分の言葉で情報を整理し意見を述べるができること、(3) 医学・医療に対する批判的思考を身につけることです。 2. 中間目標 (1) 膨大な情報量を持つ学問領域を知ること、(2) 健康や医療のリテラシーを身につけること、(3) 講義ノートの作成の仕方をも身につけることです。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 講義の改善点や要望は歓迎します。		
〔教科書〕 配布資料と板書による講義です。		
〔指定図書〕 「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)		
〔参考書〕 なし		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 評価の割合は、講義時の課題への取り組みとグループ学習 50%、テスト(ノートのみ持ち込み可)が 50%です。		

〔評価の基準及びスケール〕 A は 80 点以上、B は 70～79 点、C は 60～69 点、D は 50～59 点、E は 49 点以下と評価します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 1. 受講の姿勢 (1) 講義の目的は暗記ではありません。健康と医療に関するトピックをもとに、当たり前と思っていた事柄に対して批判的な思考を身につけましょう。(2) 医学・医療に関わる膨大な情報量を理解するために、講義では常にノートでメモを取る必要があります(目安として 15 回の講義でノートを一冊使います)。講義への積極的な参加を希望します。 2. 学生への要望 (1) 遅刻・欠席はできるだけ控えてください。(2) 講義で分からないことは気軽に質問してください。(3) 学習の不安は一人で抱え込まないで教員に相談してください。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授業スケジュール	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: 本講義の目的、内容、評価方法について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 解剖生理学を学ぶための基礎知識 内 容: 細胞生物学と組織学について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): 解剖生理学を学ぶための基礎知識 内 容: 人体の構造と区分、人体の部位と器官、方向を示す用語について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 消化器系 内 容: 口、咽頭、食道、腹部消化管の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 消化器系 内 容: 膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能、腹膜について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 呼吸器系 内 容: 呼吸器の構成、肺の構造と機能、呼吸器系の病態生理について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 循環器系 内 容: 心臓の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 8 回	テーマ(何を学ぶか): 循環器系 内 容: 末梢循環器系の構造と機能、リンパ管系について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)
第 9 回	テーマ(何を学ぶか): 泌尿器系 内 容: 腎臓、排泄路の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018 年)

第10回	テーマ(何を学ぶか):神経系 内 容:中枢神経の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第11回	テーマ(何を学ぶか):神経系 内 容:末梢神経の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第12回	テーマ(何を学ぶか):運動器系 内 容:骨と筋の基礎知識について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第13回	テーマ(何を学ぶか):運動器系 内 容:骨の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第14回	テーマ(何を学ぶか):運動器系 内 容:骨の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第15回	テーマ(何を学ぶか):運動器系 内 容:筋の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
試 験	期末試験(筆記試験)